



新しい年度の始まりにあたって

校長 阿部 雄生

保護者・地域の皆様には、日頃より寄居中学校の教育活動にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

新入生76名を迎えて、全校生徒248名で令和4年度がスタートいたしました。新しい年度の始まりにあたり、始業式で生徒に話した内容を紹介します。

今日から令和4年度が始まります。3年生にとっては、来年3月3日の卒業式に向けての一年が始まります。どのように中学校を卒業するか、それは皆さん一人一人の心次第です。

2年生にとっては（1年生にとっても自立に向けて目標にしてほしいことです）、希望の進路実現に向けて土台づくりの一年です。学習でも生活でも、自分で考え判断して行動する習慣というしっかりとした土台を築いてください。

新しい一年の始まりに際し、皆さんに伝えたいことが二つあります。

一つは、「変わるチャンスを大事にしてほしい」ということです。

新しい学級発表があり、一つ上の学年の響きを聞いて、新たな気持ちで今この場にいるのではないかと思います。その時が自分を変えるチャンスです。一つ上の学年になるという節目を生かして、これまでできなかったことやしてこなかったことにチャレンジし、自分を高めていってほしいと思います。

また、皆さんの周りには何かを挑戦している人に、「すごいね」「頑張っているね」の一言や拍手を送って応援してあげてください。

昨日までの春休み中に、気持ちの良いあいさつの声や、職員室に入るときの礼儀正しいあいさつの声が聞こえていました。気持ちも新たに頑張ろうとしている様子が伝わってきました。皆さんのこの一年に頑張りが今からとても楽しみです。

二つ目は、皆さんは全員、学年が一つ上がりました。学年が上がるということは、一步大人に近づいたということだと思います。

大人になるということの一つは、「自分が周りの人から支えられ、人との関わりを通して成長できていることに気付いて、素直に感謝の気持ちを伝えられる」ことだと思います。感謝の気持ちを伝えるのは、「ありがとう」の言葉だけではありません。「おはようございます」などの挨拶や「はい」の返事も、相手に感謝の気持ちを伝えて、お互いに支えあい高めあえる良い関係を築いてくれます。

今日からは、新しいクラスの人や先生方から支えてもらう日々が始まります。そのことを忘れずに、「ありがとう」「ごめんなさい」「おはようございます」「はい」という言葉で、感謝の気持ちを素直に伝えられる人であってほしいと思います。

この一年、皆さんの頑張りを寄居中の教職員全員で一生懸命支えます。共に力を合わせて、居心地よく、そして一人一人が自分の力を高めていける学校にしましょう。

